

第43回群馬県小学生総合体育大会柔道競技要項

- 1 目的 将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
- 2 主催 上毛新聞社・群馬県スポーツ協会・群馬県柔道連盟
- 3 日時 令和元年12月1日(日)10時30分試合開始 受付8:45~9:30 審判・監督会議10:00
開会式10:20分
- 4 会場 ALSOK ぐんま武道館大道場 前橋市関根町800番地 TEL 027-234-5555
- 5 実施種別

<男子>

学年別	軽量級	中量級	軽重量級	重量級
4年生	33kg未満	33~38kg 未満	38~48kg 未満	48kg 以上
5年生	36kg未満	36~43kg 未満	43~58kg 未満	58kg 以上
6年生	38kg未満	38~48kg 未満	48~63kg 未満	63kg 以上

<女子>

軽量級	中量級	重量級
30kg未満	30~40kg 未満	40kg 以上
35kg未満	35~45kg 未満	45kg 以上
40kg未満	40~50kg 未満	50kg 以上

6 参加資格

- (1) 群馬県内の小学生(男子・女子)4年生以上で令和元年度全柔連に競技者登録している者。
- (2) 群馬県内の町道場・スポーツ少年団・柔道教室のいずれかに所属している者。
- (3) 稽古期間6か月以上で、受け身を習得しており、大切な成長過程にあることを重視し、減量をしない者。
- (4) 選手本人の出場意志を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者の承諾を得た者。

7 試合方法

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」、「少年大会特別規定」を適用する。※2018年2月3日変更版・少年規定改訂補足を適用
- (2) 試合時間は3分間とし、トーナメント戦で行う。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差であれば旗判定で勝敗を決定する。(GSは行わない)

8 計量 大会当日9:00~9:30(非公式計量8:20~8:55) 場所:男子は大道場 女子は第一道場

※公式計量は1回のみ測定とする。非公式計量の時間中に必ず確認しておくこと。

9 参加申込

群柔連HPより申込用紙をダウンロードし、添付ファイルにて10月30日(木)までに、mini-macho@nifty.comまで申し込むこと。その際、ファイル名は団体名としEメールと郵送の両方の申込が望ましい。

また、3年連続優勝(昨年度の大会で連続優勝)した選手がいる場合、申込用紙に氏名/ふりがなを記載すること。

10 参加料 1人500円(保険料及びプログラム代等) ※受付時間内の8:45~9:30に武道館入口にて集金

11 組み合わせ 群馬県柔道連盟普及部で行う。

12 表彰 各種別の優勝・準優勝・第3位(2名)・3年連続優勝者を表彰する。

13 その他

- (1) 4・5年生で第3位に入賞した56名の選手は令和元年~令和2年度群馬県小学生強化選手とする。
- (2) 本大会ベスト8以上の選手は令和2年度第17回小学生学年別柔道大会群馬県代表選手選考会(令和2年5月実施予定)への出場権を得られる。
- (3) お問い合わせ 群馬県柔道連盟普及部事務局 藤川 進 TEL027-372-1165 E-mail: mini-macho@nifty.com

〒370-3525 高崎市三ツ寺町1207-5 携帯080.5090.1165

脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること

- 1 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- 2 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、脳神経外科などの専門医の精査を受けること。)
- 3 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- 4 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。